

# 国語科学習指導案（3年）

## 1 単元名 「桐生のおすすめガイド」を作成しよう

～いくつかの文章の形態を選び、構成を工夫して書き、編集する～

教材名『文章の形態を選んで書こう 修学旅行記を作る』（光村図書：国語3）

## 2 考察

### (1) 教材観

#### ①学習内容：学習指導要領上の位置付け

・「B書くこと」：ア

「社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。」

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」：(2)ア

「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書くこと。」

#### ②伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

・自分の思いや考えを表現するためにふさわしい文章の形態を選んで書く力

・目的に応じて様々な文章を集め、工夫して編集する力

・目的や必要に応じて効果的に文字を書く力

#### ③単元を貫く言語活動の設定と言語活動の特徴

・言語活動例イの「目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集すること。」を基に、本単元では、桐生市の観光ポスターを批評した後、観光交流課係長からポスター作成の意図を聞き、桐生の魅力を伝える「桐生のおすすめガイド」を作ることを課題として設定する。桐生の魅力を伝えることを目的に、一つのテーマに対していくつかの文章の形態を選び、構成を工夫して書き、相手に興味をもってもらえるガイドを編集していくという、単元を貫く言語活動を設定する。

・自分の考えや思いを表現するのにふさわしい文章の形態を選ぶことで、伝える目的や内容を明確にするとともに、文章の形態それぞれの特徴をつかむことができる。また、特徴をつかむことによって、文章を書く観点が明確になり、交流活動でも評価がしやすくなる。

・できあがったそれぞれの文章を「桐生のおすすめガイド」にまとめることによって、一つの文章を書く力だけではなく、いくつかの文章を組み合わせることを通して、総合的に考えたり伝えたりする力を高めることになる。

#### ④教材の特徴

・教科書では、修学旅行記を作るという設定で、一冊にまとめていくまでの「学習の見通し」が明確に書かれている。

・文章の形態ごとに特徴がまとめられており、自分の思いや考えが最も効果的に伝わる形態はどれかを考えやすくしている。

・A4判一枚にまとめた例が載せられており、書写の学習につなげることができる。

### (2) 本単元に関わる生徒の実態及び指導方針

#### ①既習の学習内容

・『夏草―「おくのほそ道」から』では、紀行文の形態に触れ、桐生市ではどんな紹介ができるかを考えた。

・修学旅行では、「旅行新聞」として、2～3人でB4判2枚の新聞を作成した。レイアウトを考え、記事を分担したり、見出しや図表の工夫をしたりして、様々な文章を編集する活動に触れた。

・『握手』の人物像をまとめる学習や『高瀬舟』の主張文を書く学習、ポスターを批評する学習では、『君も表現名人になろう！』（校国語編）を用いて、よりの確な言葉を使えるようにしてきた。

#### ②実態及び指導方針

・生徒は今までの学習の様々な場面で、自分の考えを広げたり、深めたりするために、少人数（ペアや3～4人のグループ）での交流活動を繰り返し行ってきた。本単元の学習でも、少人数による交流活動の場面を設け、一人一人が活動する場面を保障し、意見交流の目的や方法を明確に示すことで、自分の考えを吟味したり、補強したりできるようにする。

- ・「学習カード」を用意し、学習の見通しをつかみやすくする。授業のはじめに本時の課題を示し、本時の学習内容を明確にさせる。また、授業の最後に本時で学習したことを振り返らせ、学習内容を確認させるとともに、次時への課題を明確にさせる。
- ・単元の導入で、群馬県と桐生市の観光ポスターを比較したり、観光交流課係長からポスター作成の意図を聞いたりすることで、「桐生のおすすめガイド」を作成する必要性を強くもたせる。
- ・テーマ選びについては、マッピングやブレインストーミングを行うことで、自分自身の体験や思いが強いものを選べるようにする。
- ・文章の形態を選ぶにあたっては「モデル文シート」を提示する。「モデル文シート」には、焼きまんじゅうをテーマとして、報告文、記録文、意見文、手紙文、紀行文、随筆、物語文の特徴、例文等をまとめた。モデル文を提示することで、それぞれの文体の特徴に気付かせるとともに、文章を書く際のポイントにさせる。さらに、交流活動では、評価の観点として使用させるようにする。
- ・各自で考えた後に、ペア、小グループごと、および学級全体でのシェアを行うことで、生徒一人一人が自分の気付きと他者の気付きを比べ、共有できるようにする。
- ・グループでA3判用紙にまとめる際は、読み手の興味を引きつける工夫の一つとして、文字の大きさや書き方（レイアウト）も考えさせる。手書き、パソコンの編集のどちらかで完成させる。
- ・ワークシートは、今までの学習した流れや自分の考えの変化が分かるようなものとし、今後、文章を書く際の参考にさせる。

### 3 校内研究との関わり

本校は、研究主題を「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成ー各教科における『考え、表現させる』ための交流活動を通してー」として研修を進めている。本年度は3年計画の2年目として、研修の四つの柱の一つ、「授業の工夫・改善」の中の、「基本的留意事項（明確な課題設定・考える場の設定）」と「支援のポイント」を確認し合い、授業実践に結びつけてきた。

本単元では、「桐生市のおすすめガイドを作成する」という明確な課題を学習のはじめに掲げ、「どんな内容をどんな文章の形態で書くのか」ということを考え、表現させる場を設定した。また、支援のポイントとしては、「交流活動のもち方」（活動内容によって、個・ペア・小グループ・学級全体と適切な学習形態に変える）」に視点を当てて、授業を進めていきたいと考える。

### 4 単元の目標

桐生市の魅力を様々な文章の形態で表現し、それらを工夫して編集することで、より効果的に伝わる「桐生のおすすめガイド」を完成させる。

### 5 評価規準及び指導の計画概要（全6時間予定）

評価規準	国語への関心・意欲・態度	・文章の形態の特徴を意識して、桐生市の魅力を知ってもらえる「桐生のおすすめガイド」を作成しようとしている。		主な学習活動	関	書	言
	書く能力	・テーマをもとに、様々な文章形態の特徴を意識しながら表現し、効果的に伝わる編集の工夫をしている。 ・グループごとに互いの作品を読み合い、文章の形態の特徴を意識して書いているかを評価し、今後の自分の表現に役立てようとしている。					
	言語についての知識・理解・技能	・文字の大きさや書き方など工夫して、指定された用紙に文字を書いている。					
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	関	書	言
		活用させたい知識等	思考力・表現力等				
第1時 ～ 第2時	課題把握	・批評する際に使用する語句の理解	・表現の仕方について批評する力  ・話し手の意図を考えながら聞く力	・既習の学習を振り返り、「桐生市観光ポスター」を批評する。 ・市産業経済部観光・物産係長の話を聞き、「桐生のおすすめガ	○	○	

				イド」を作成することを 知る。			
		・ 文章の形態の理解	・ 多様な方法で材料を集め、自分の考えをまとめる力	・ 桐生市のおすすめできるところをマッピングやブレインストーミングを行う。 ・ 「モデルシート」からいろいろな文章の形態があることを確認する。《グループ編成》			
第3時 ～ 第5時	課題 追究	・ 文章の構成や展開、表現の仕方について分析する力 ・ 複数の文章を比較して読む力	・ 自分の思いや考えを表現するのにふさわしい文章の形態を選ぶ力	・ キャッチコピーを考え、どんな内容をどの形態で書くかを検討する。 ・ 原稿を分担し、文章形態の特徴を踏まえながら書く。 ・ 桐生の魅力が伝わる原稿になっているか、内容面での修正をする。(グループでの交流活動)		○	○
		・ 自分の考えを伝える力 ・ 他の考えを聞き取る力	・ 課題に対する考えを一層深める力 ・ 集めた材料を分類し、整理する力  ・ 選んだ文章の形態に適した構成で書く力	<b>【本時】</b> ・ 文章の形態の特徴が生かされている原稿になっているかを考え、推敲する。(同じ形態を選んだ者同士の交流活動) ・ 推敲した文章を読み合い、キャッチコピーを見直す。(グループでの交流活動)		○	
		・ 字形を整え、文字の大きさ、配列などを理解する力	・ 目的や必要に応じて効果的に文字を書く力 ・ 目的に応じて様々な文章を集め、工夫して編集する力	・ それぞれの文章やキャッチコピーの配置、文字の大きさや書き方について考え、A3判用紙に編集する。(グループでの交流活動)		○	○
第6時	まとめ	・ 学習したことを一般化する力	・ 互いの表現を比較して、適切に評価する力 ・ 他の表現に触れ、自分の表現に役立てようとする力 ・ 必要な情報を関連付けて考える力	・ それぞれのグループの完成作品を読み合い、構成の仕方や表現の工夫をしているか、選んだ文章の形態が効果的であったかについて評価し、自分の表現に役立てる。	○	○	

6 本時の学習 (4/6)

(1) **ねらい** 文章の形態の特徴を意識して推敲し、桐生の魅力が伝わるように編集の工夫をしている。

(2) **準備** 教師：教科書、ワークシート  
 生徒：「学習カード」、ワークシート、「モデル文シート」

(3) **展開**

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p>0 全員で朗読する。  <b>&lt;本時の課題を把握する&gt;</b>                      1 前時に書いた文章を推敲することを                      知る。</p>	5分	<p>・「学習カード」で既習事項を振り返り、本時のねらいを確認する。                      ・前時に書いた文章を確認させる。</p>
<p><b>【学習課題】</b> 文章の形態の特徴を意識して推敲し、桐生の魅力がより効果的に伝わるガイドを作ろう。</p>		
<p><b>&lt;課題を追究する&gt;</b>                      2 文章の形態の特徴を意識して、それぞれの文章を推敲する。                      ○それぞれの文章を読み合い、モデルシートを基に、文章形態の特徴が生かされているかを確認する。  <b>【同じ形態を選んだ生徒によるグループ活動】</b></p> <p><b>【意見文】</b> もっと自分の意見をはっきりさせて、みんなが納得できるような根拠にした方がいいと思います。</p> <p><b>【物語文】</b> だれの視点で書かれているのかわかりにくいから、主語を入れた方がもっと伝わる文章になると思います。</p> <p><b>【随筆】</b> もっと気持ちを表す言葉を使った方がよく伝わると思います。</p> <p><b>【報告文】</b> あまり自分の想像で書くのはよくないと思います。もっと事実かどうかを調べて書いた方がいいと思います。</p>	20分	<p><b>【グループで設定したテーマ】</b>                      ○6班…織物    ○8班…桐生が岡公園                      ○1班…食べ物   ○9班…さや市(糸屋通り)                      ○3・4・10班…自然(吾妻山)                      ○2・5・7班…桐生まつり(八木節)</p> <p><b>【モデルシートに載せた文章の種類】</b>                      レポート(報告文)・記録文・意見文                      紀行文・随筆・手紙文・物語文</p> <p><b>発問1</b>…それぞれの文章を読み合い、文章形態の特徴をいかした文章になっているか確認しよう!</p> <p>・グループについては、同じ文章の形態を選んだ3～4人のグループとする。                      ・グループ活動の目的は、「文章形態の特徴をいかしているかどうか」であることを明確にして、活動の仕方を確認する。</p> <p><b>【グループ活動の仕方】</b>                      ① 互いの文章を回し読みする。                      ② 文章形態の特徴がいかされている部分、もっと工夫できそうな部分を、それぞれのワークシートに書く。                      ③ もっと工夫できそうな部分を中心に、どんなふうに修正すればいいのか、具体的にアドバイスし合う。                      ④ 順番に③を繰り返し行う。</p> <p>・②では、前時に配布した「モデルシート」の特徴を評価の観点とすることを伝える。                      ・グループ活動が滞っているグループに対しては、</p>

		<p>モデルシートの特徴と例文を照らし合わせて、アドバイスの観点を確認する。</p>
<p>○アドバイスを基に、それぞれの文章を推敲する。</p> <p>・自分では思いのままに書いたつもりだけど、気持ちを表す言葉が少なかった。気持ちを表す言葉が入ると随筆らしくなった！</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を推敲する際は、消しゴムを使わず、線を引いたり、ワークシートの訂正欄に書いて、矢印を使ったりさせる。</li> <li>机間指導をしながら、推敲するのが困難な生徒に具体的なアドバイスをする。</li> </ul>
<p>3 推敲した文章を読み合い、キャッチコピーを見直す。</p> <p><b>【同じテーマの生徒によるグループ活動】</b></p> <p>○推敲した文章を読み合い、桐生の魅力が書かれているかを再確認する。</p> <p>○最初に考えたキャッチコピーを見直す。</p> <p>「にぎやかな桐生まつり」と考えていたけれど、みんなの文章を読むと、にぎやかというよりは、人と人の絆を結ぶみたいな言葉が入った方がいいと思う。</p> <p>「眺めのきれいな〇〇山」と考えていたけれど、どの文章も、景色を通して人の心が晴れやかになっているから、「心を洗う〇〇山」にした方がいいかな。</p>	<p>15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章形態の特徴を中心に推敲したことで、桐生の魅力についての記述が薄れていないかを確認する。</li> <li>グループ活動の目的は、「桐生の魅力が伝わる文章になっているかどうか」であることを明確にする。</li> <li>それぞれの文章を読み合った上で、文章を書く前に考えたキャッチフレーズを見直し、さらによりよいものになるかを考える。</li> </ul> <p><b>発問2…キャッチフレーズをもう一度見直そう！</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデルシートを例に挙げ、キャッチコピーを見直す方法を具体的に知る。(焼まんじゅうの全て→わが故郷の味、焼まんじゅう)</li> </ul> <p><b>【読】</b> 文章の形態の特徴を意識して推敲し、桐生の魅力が伝わるように、編集の工夫をしている。(ワークシート)</p>
<p>&lt;本時のまとめをする&gt;</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○本時の学習を通して分かったこと、気付いたことをワークシートに書き、発表する。</p> <p>&lt;生徒の意識&gt;</p> <p>文章形態の特徴がよく分かった。〇〇に対して、いろいろな文章形態で編集すると、〇〇のことがより伝わりやすくなることが分かった。次回、グループのみんなの文章を合わせてガイドを完成させるのが楽しみだ！</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループから学級全体の学習形態に机を戻す。</li> <li>「学習カード」で、本時のねらいと学習内容を確認し、学習を振り返らせる。</li> <li>挙手による発言がなければ、参考にしてほしい内容をワークシートに書いている生徒を指名して、発表させる。</li> <li>次時は、推敲した文章をA3判の用紙にまとめることを伝える。</li> </ul>

